

第4学年 国語科学習指導案

日時：平成28年10月27日（木）第5校時

場所：4年1組教室（2階）

授業者：大西 友美

児童数：34名

1 単元名：読んで考えたことを話し合おう
教材名：ごんぎつね

2 指導の立場

(1) 児童の実態

これまでに児童は「一つの花」で、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読みを深める学習をしてきた。また、物語の設定やキーワード、山場、題名の4つの観点から読むことで、自分の紹介したい本でも同じように読むことができた。また「一つの花」の学習を通して、「誰もが平和に暮らせる世界を願って書かれた本」を読み、ビブリオバトルを行っている。ビブリオバトルとは、本の紹介を行い、その中から一番読みたい本を選ぶ活動である。公式ルールもあるが、児童の実態に合わせてルールを変えて行った。本時も、ビブリオバトルを位置付けている。しかし、本時は、一人一人の読みの感じ方の違いに児童が気付くようにすることをねらいとしている。

(2) 本時の指導について

【単元指導計画の工夫】

本単元でも、三次にビブリオバトルで本の紹介を行う活動を設定した。今回のビブリオバトルのテーマは、「新見南吉の作品」である。そのため「ごんぎつね」を読み、自分が選んだ本との共通点や相違点、作品を読み比べて思ったことや考えたことをビブリオバトルの原稿に取り入れられる指導計画を作成していく。

【指導方法・指導形態の工夫】

「一つの花」では、単位時間の中に習得と活用を取り入れた「入れ子構造」の授業を行った。そのため、一人読みの時間を教師主導の全体交流の時間とすることで、確実な読みの力を付けることを目指してきた。本時の授業では、一人読みの時間の後、グループ交流を行い、司会を中心にしてグループで読みを追究することにした。グループ交流をすることにより、一人一人の読みの感じ方の違いに気付く、より深い読みをすることができると思った。

【学習環境の工夫】

大型テレビに学習の足跡を映し、これまでの学習を振り返ったり、仲間のノートを映し、読み取りの手本を示したりして、見直しをもって学習ができるようにする。

3 本時の目標

「ごんぎつね」のおすすめの場面を選び、叙述を根拠として選んだ理由をまとめ、グループ交流や全体交流をすることを通して、一人一人の読みの感じ方の違いに気付くことができる。（読むこと オ）

4 本時の展開 (8/14)

「評価標準」※ICT活用について

過程	過程の目標	主な学習活動	指導・援助
つかむ	○これまでの学習の流れを振り返り、本時の学習課題をつかむことができる。	1 前時までの学習を振り返る。 ・ごんの気持ちの変化や兵十の気持ちの変化を読むことできた。 2 本時の学習課題をつかむ。	※これまでの学習の足跡をテレビに映し、内容を振り返ることができるようにする。
ふかめる	○一番読んで欲しい場面を考え、叙述をもとにして根拠を考えることができる。 ○自分の意見を発表し、仲間の意見と比べながら聞くことで、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。 ○仲間の意見を聞くことで、一人一人の感じ方の違いに気付く、それを認め合うことができる。	3 一人読みをする。 ・一番おすすめの場面を音読する。 ・おすすめの場面とその根拠を、叙述をもとに自分の考えをまとめる。 4 グループ交流をする。 ・おすすめの場面とその理由を交流する。 司：おすすめの場面は、どこですか。 A：私は、兵十がごんを撃ったところです。「兵十は、火縄銃をばたりと落としたり」と書いてあるので、撃ったことを後悔していると思います。また「青い煙が……」から、物語の最初の明るい感じとは違う、兵十やごんの深い悲しみを読んでもらいたいです。 司：Aさんと似ている人はいますか。また、違う意見の人はいますか。 B：なるほど。私はAさんと違うところだけれど、Aさんの意見を聞いてその場面もいいなと思いました。 5 全体交流をする。 ・グループ交流で聞いた仲間の意見から、自分との共通点や相違点を考えて発表する。 6 読み手の視点（どの登場人物中心で読むか、どんな情景描写を読むか、どんな気持ちで読むか、など）で、様々な読み方ができることをまとめる。 私が選んだおすすめの場面は、兵十がごんを撃ったところです。「青い煙が……」のところから、兵十やごんの悲しみを読むことができました。また〇〇さんは、「ちよつ、あんな……」のところ、ごんの気持ちが変化し後悔するところを選んでいました。ごんの視点で読んだのでおすすめの場面も変わったと思います。視点を変えて読むことも楽しいことに気付きました。自分の本でも、仲間のことを考えながらおすすめの場面を選びたいです。	・一番読んで欲しい場面を簡単にまとめてノートに書くように指示する。 ・根拠となる叙述は「」を用いて書くように指示する。 ・板書にノートの書き方を示し、何をノートに書くのか見直しをもてるようにする。 ・司会を担当する児童が、質問も交えながら読みを深められるようにするために、グループ交流の仕方を掲示しておく。 ※おすすめの場面の叙述と選んだ理由をノートに書いている児童のノートを見つけて、タブレットPCで撮影し、テレビに映して手本とする。 ※発言する児童のおすすめの場面をテレビに映しておく。
まとめる	○自分の紹介したい本の一番読んで欲しいおすすめ場面を選ぶことができる。	7 自分の紹介したい本の中から一番読んで欲しいところを見つける。 ・付箋をおすすめの場面に貼る。	・付箋を用意しておく。 ・付箋を貼る様子をタブレットPCで撮影し、次時の予告とし活用する。
			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> おすすめの場面を選び仲間と交流し、一人一人の感じ方の違いに気付いている。（読・オ） </div>